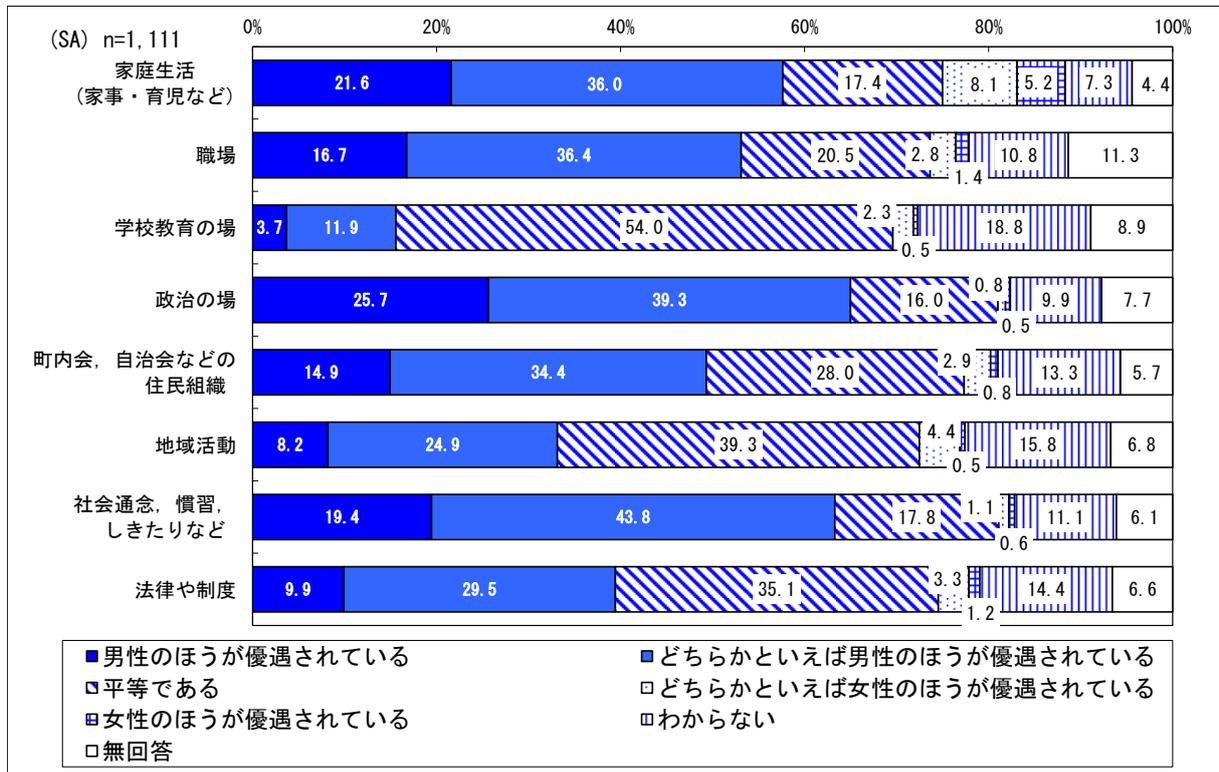


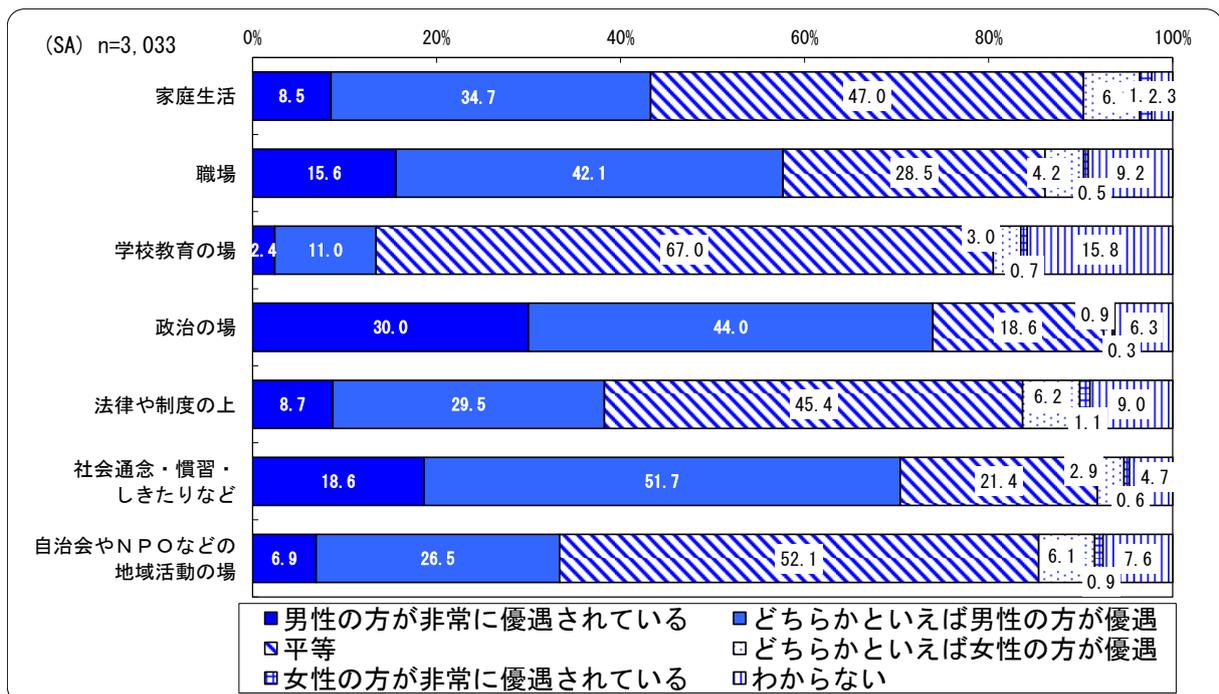
2 男女の地位の平等に関する意識

(1) 各分野の男女の地位

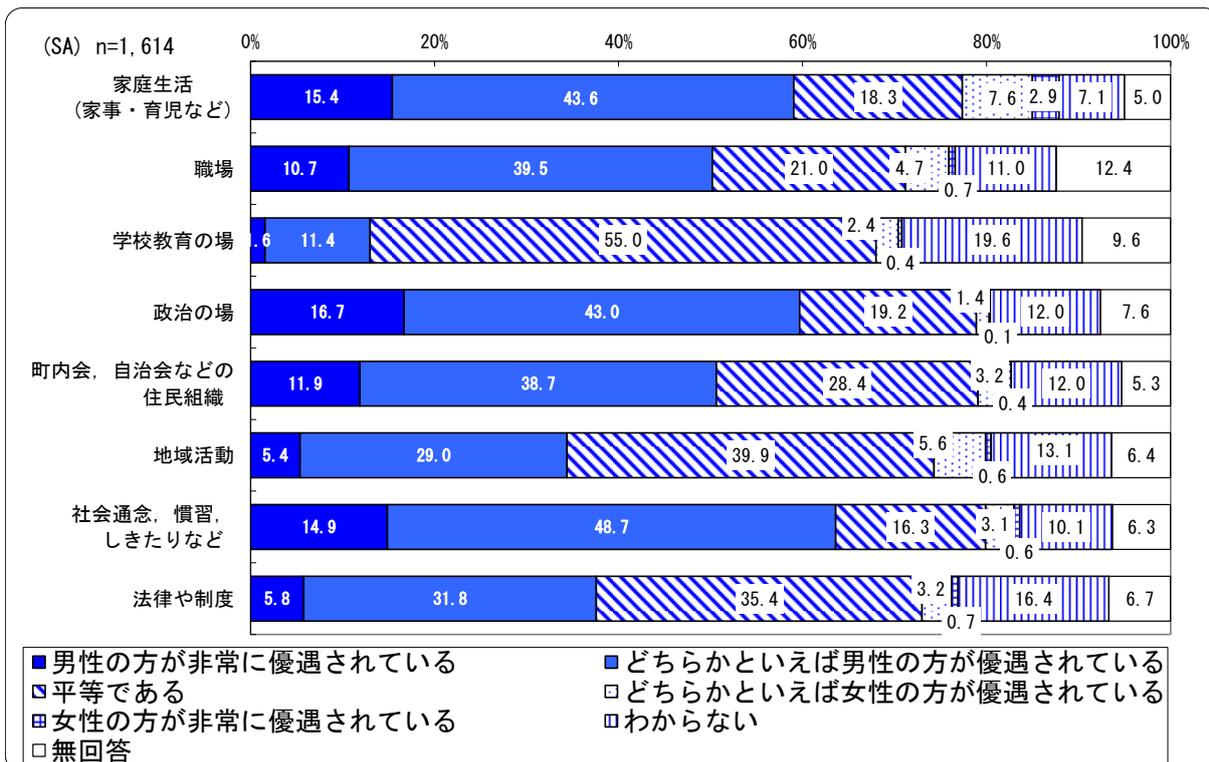
問1 次にあげる8つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれについて該当する「1～6」に○を1つ)



■平成24年全国



■平成 22 年茨城県



■ 『学校教育の場』については、平等感が高いものの、『家庭生活（家事，育児など）』、『政治の場』・『社会通念，慣習，しきたりなど』では、「男性の方が優遇されている」と感じている割合が6割前後と高い

男女の地位は、ほとんどの分野で「男性の方が優遇されている」と感じている回答者の割合が高くなっている。「平等」だと感じている割合が半数を超えている分野は、『学校教育の場』の54.0%のみとなっている。

『家庭生活（家事，育児など）』については、17.4%が「平等」と感じており、前回調査の18.3%とほぼ同様であるが、全国の47.0%よりも低くなっている。

『職場』については、20.5%が「平等」と感じており、前回調査の21.0%とほぼ同様であるが、全国の28.5%よりも低くなっている。

『学校教育の場』については、54.0%が「平等」と感じており、前回調査の55.0%とほぼ同様であるが、全国の67.0%より低くなっている。

『政治の場』については、16.0%が「平等」と感じており、前回調査の19.2%から3.2ポイント減少しており、全国の18.6%よりも低くなっている。

『町内会，自治会などの住民組織』については、28.0%が「平等」と感じており、前回調査の28.4%とほぼ同様の結果となっている。

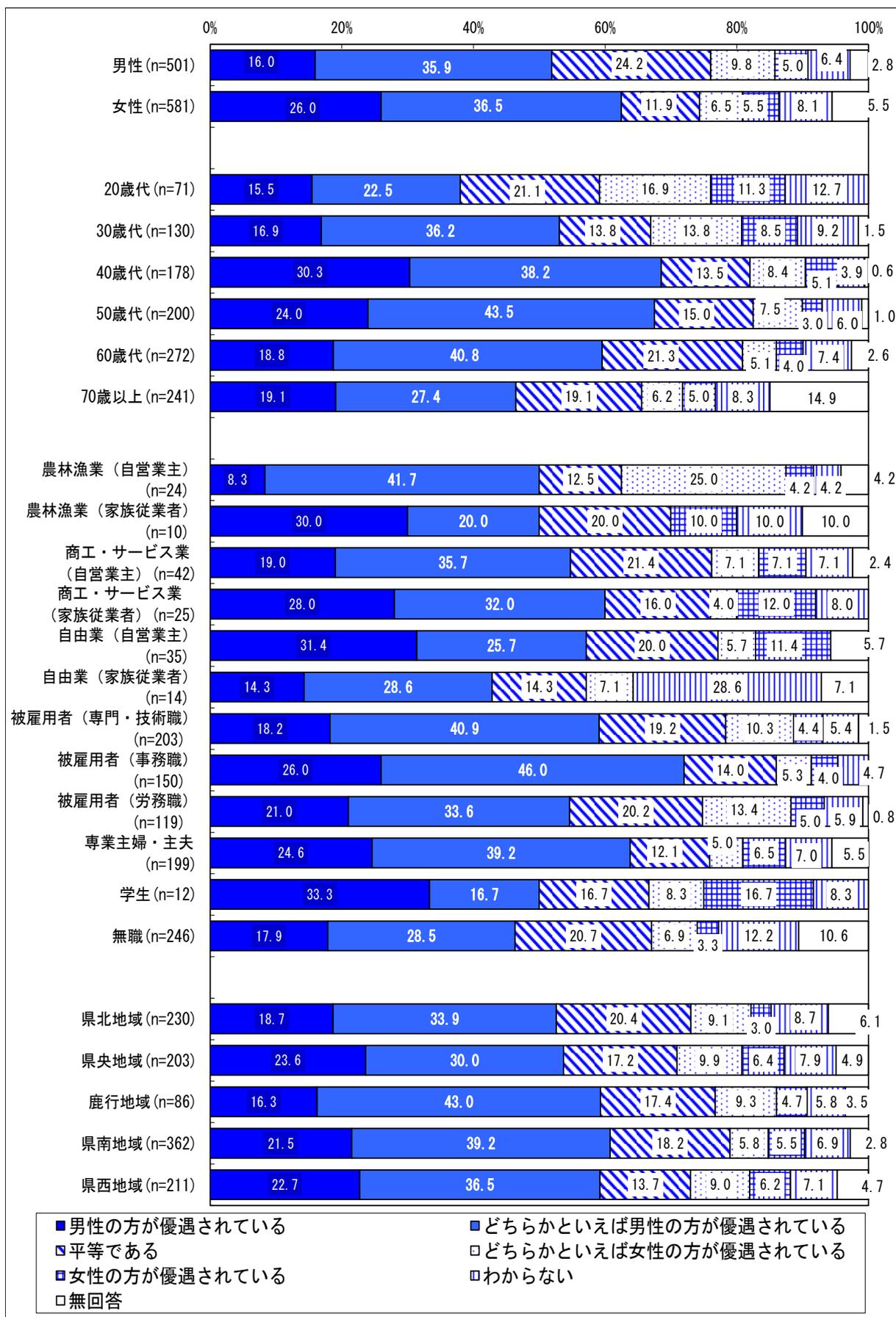
『地域活動』については、39.3%が「平等」と感じており、前回調査の39.9%とほぼ同様の結果となっている。

『社会通念，慣習，しきたりなど』については、17.8%が「平等」と感じており、前回調査の16.3%から1.5ポイント増加しているが、全国の21.4%よりも低くなっている。

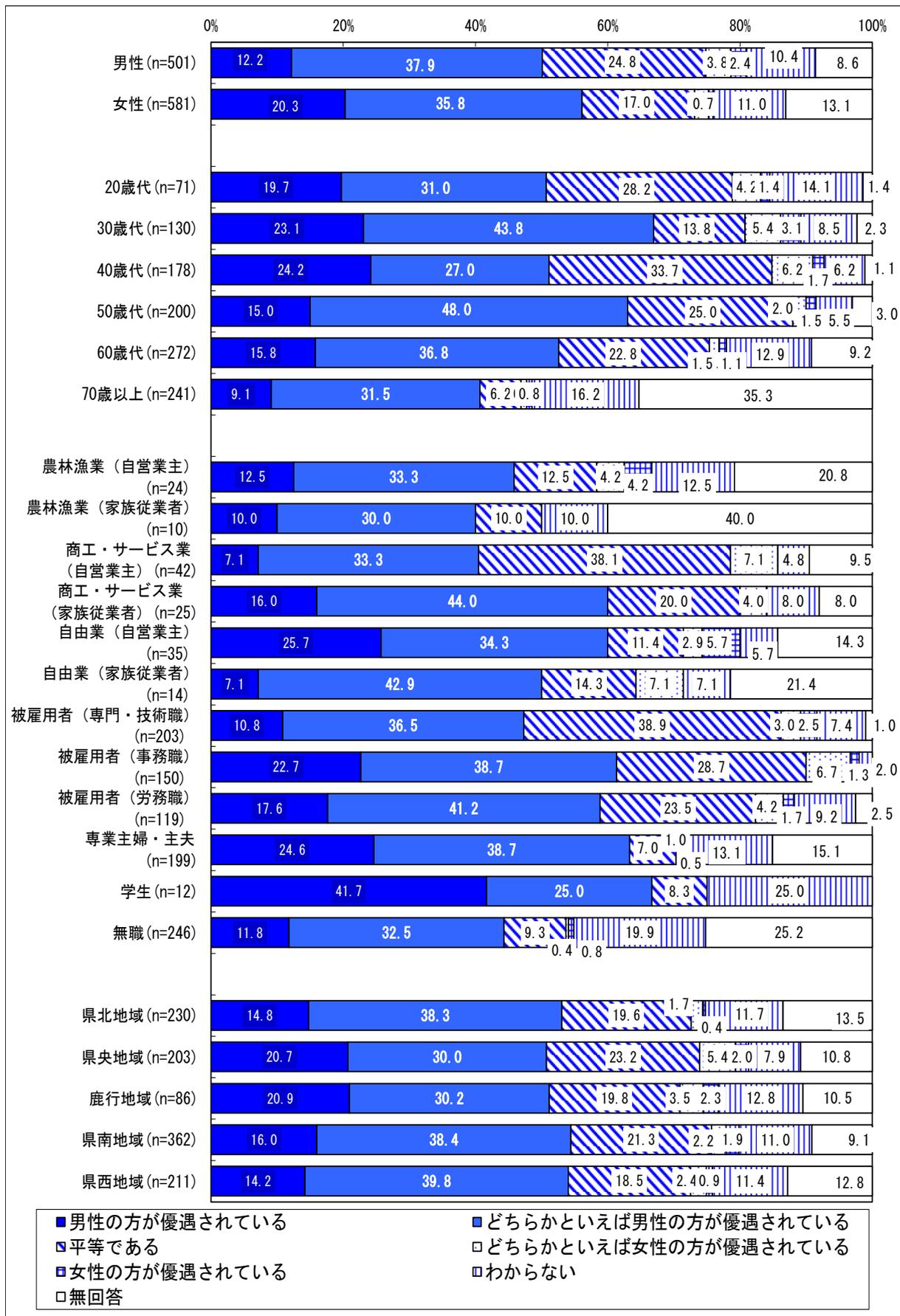
『法律や制度』については、35.1%が「平等」と感じているが、全国の45.4%よりも低くなっている。特に、性別での差が他の分野より大きく、回答割合に2割ほどの差がある。

■各分野の男女の地位（各属性別）

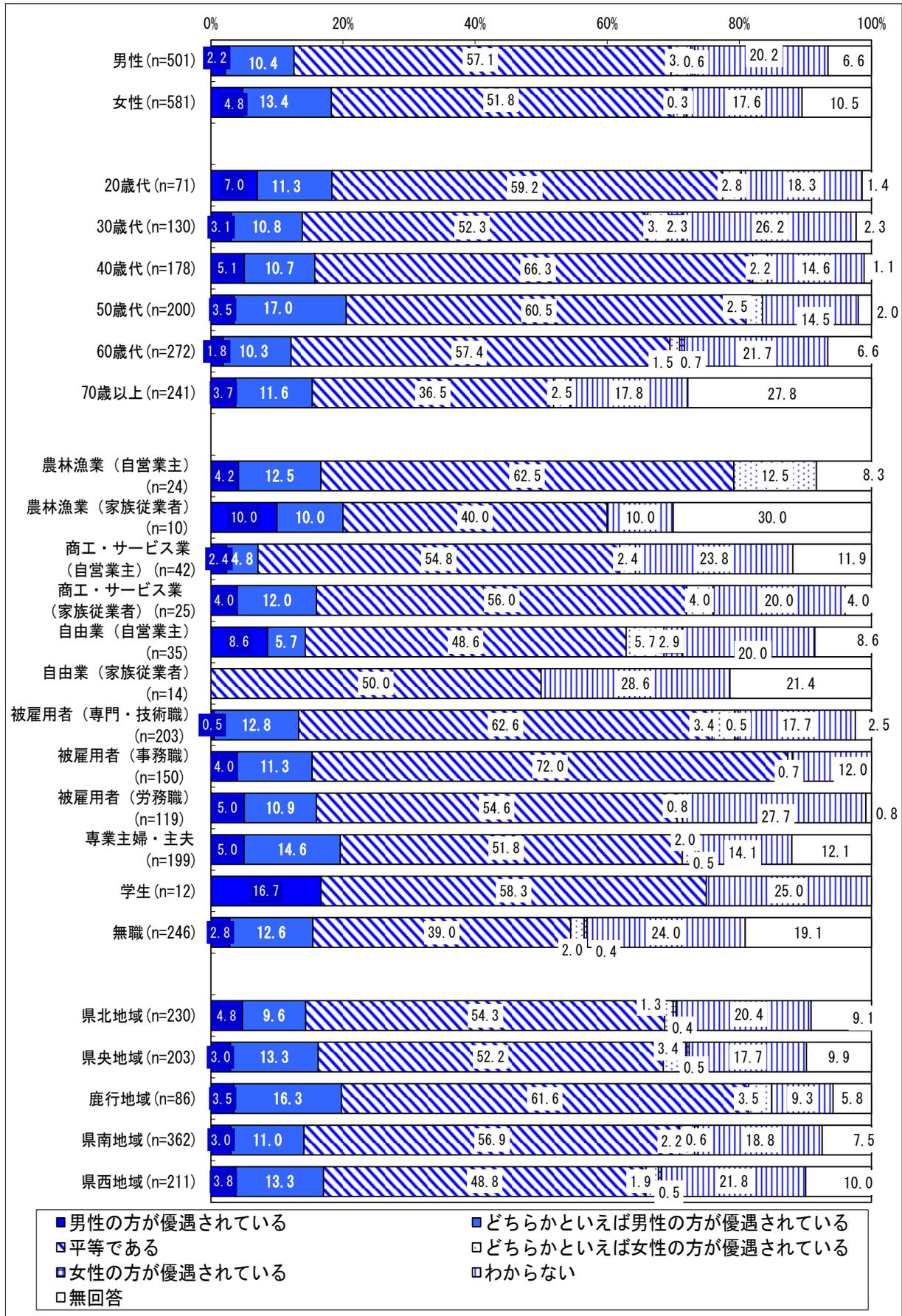
1. 家庭生活（家事・育児など）



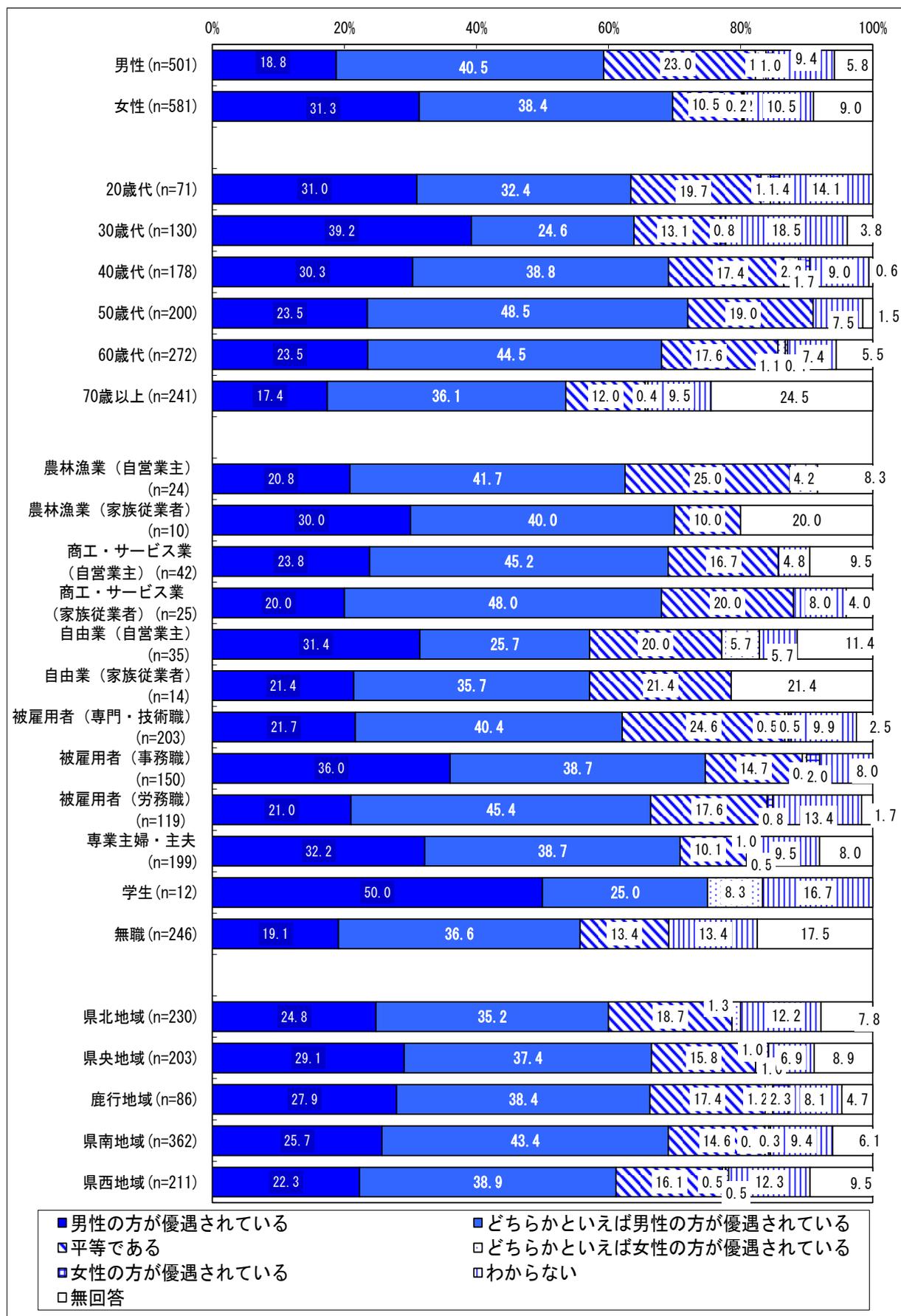
2. 職場



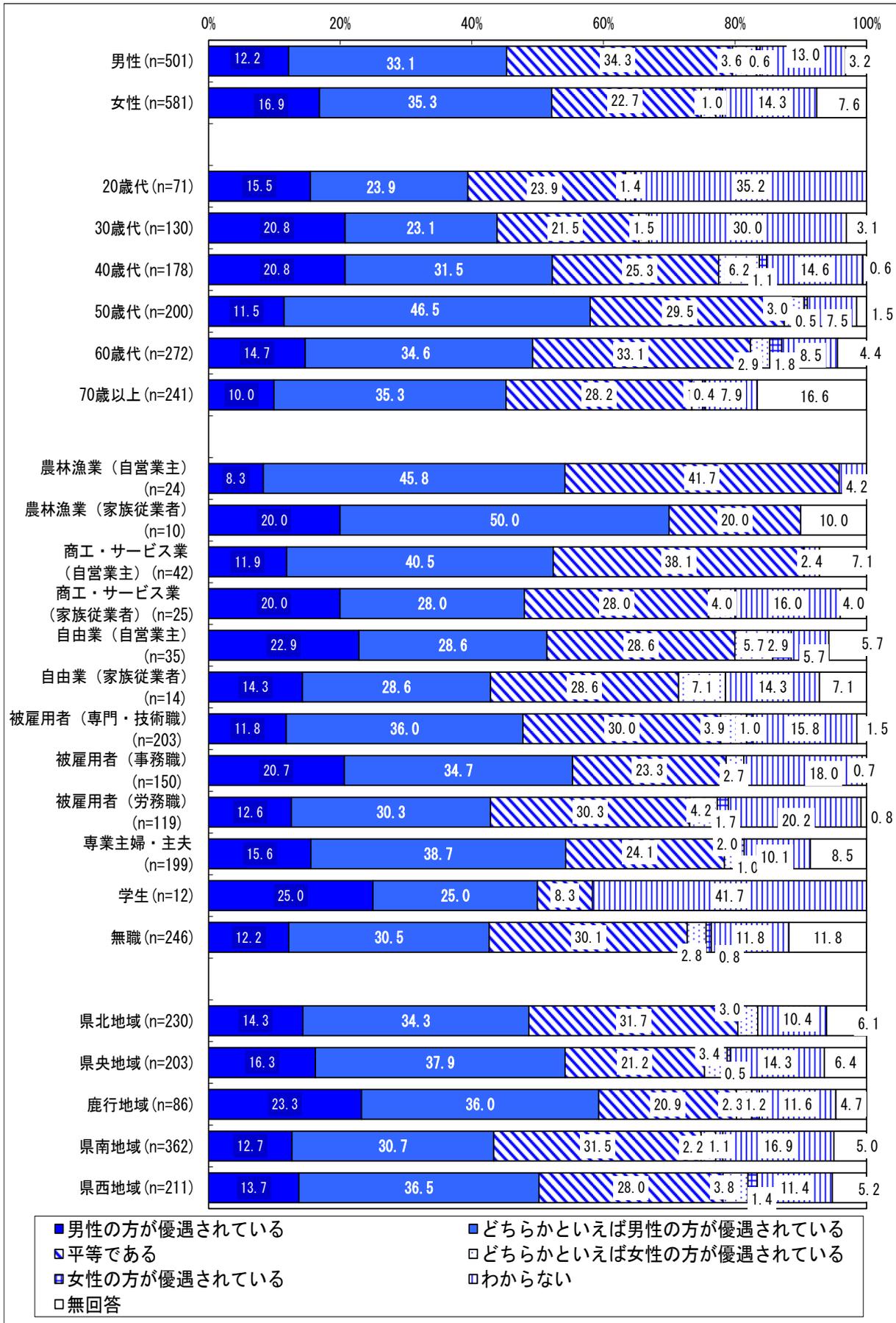
3. 学校教育の場



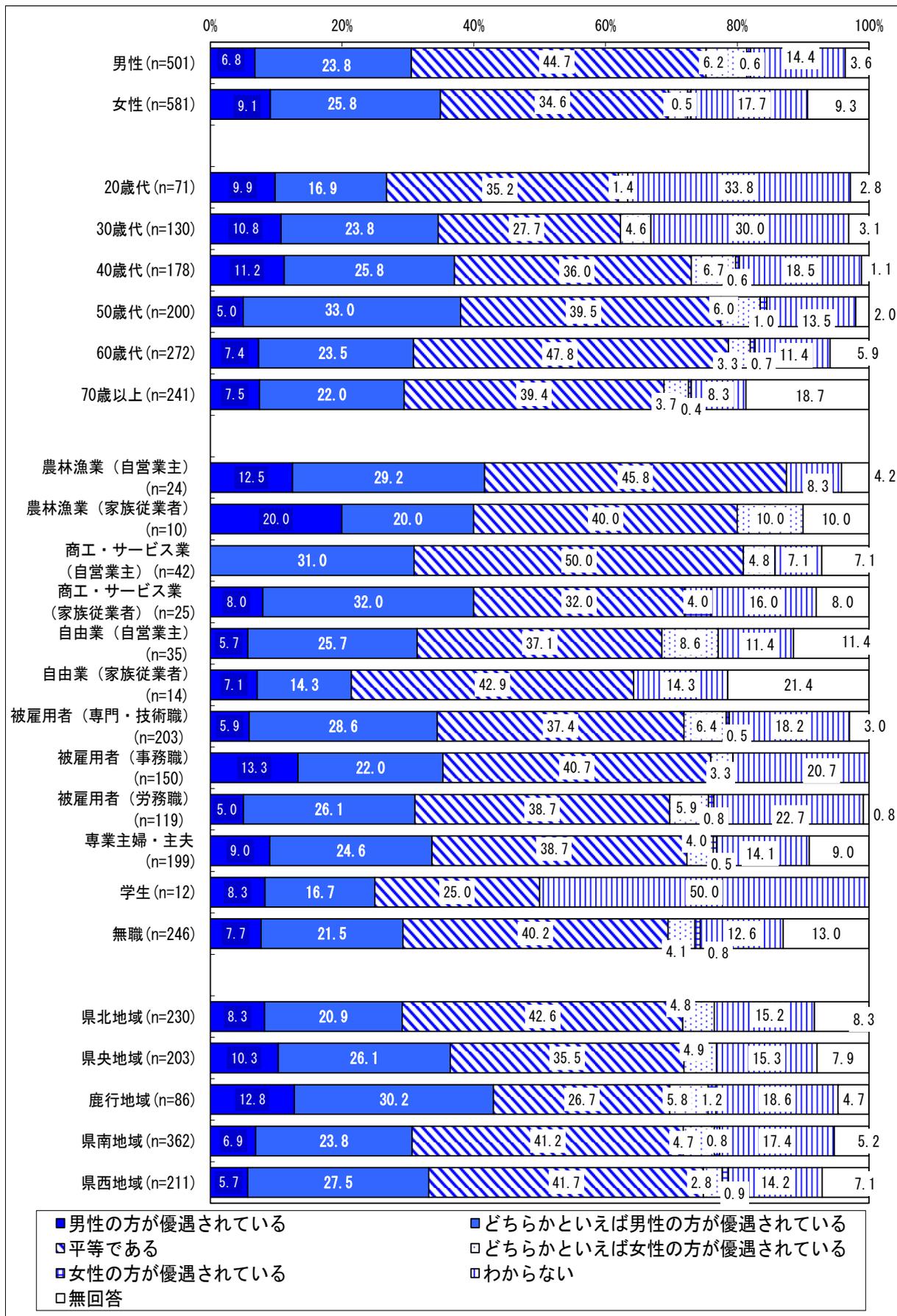
4. 政治の場



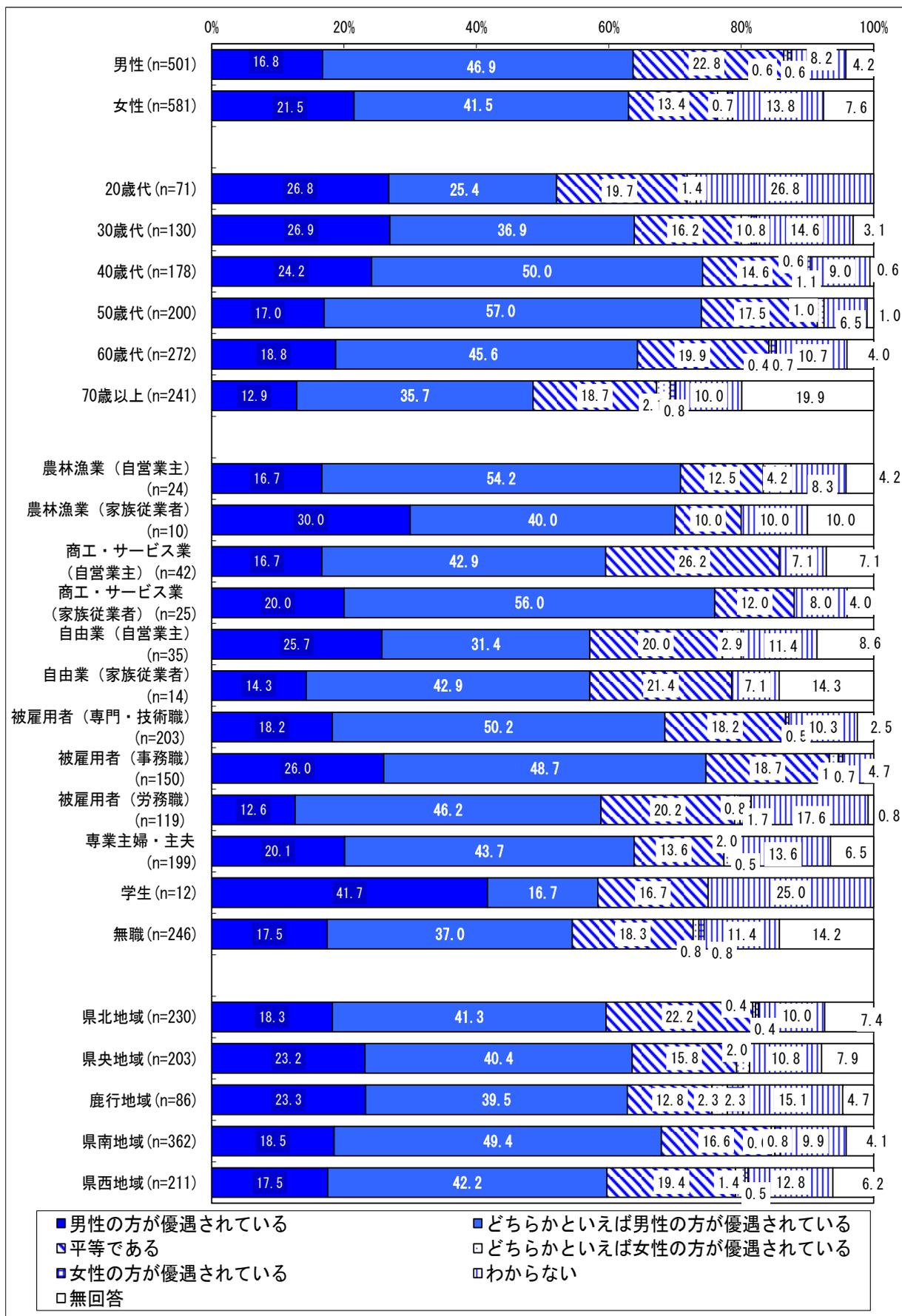
5. 町内会、自治会などの住民組織



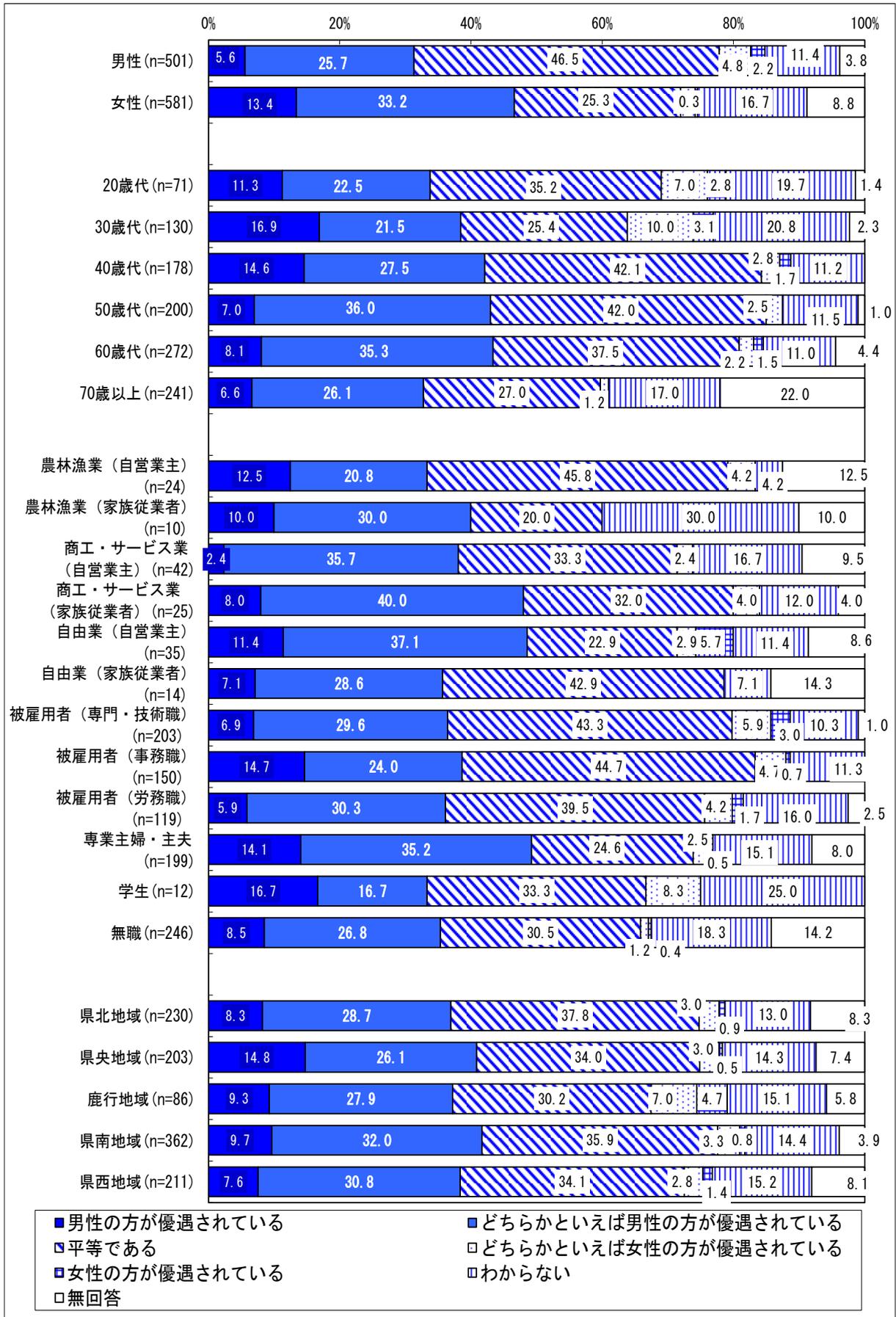
6. 地域活動



7. 社会通念, 慣習, しきたりなど

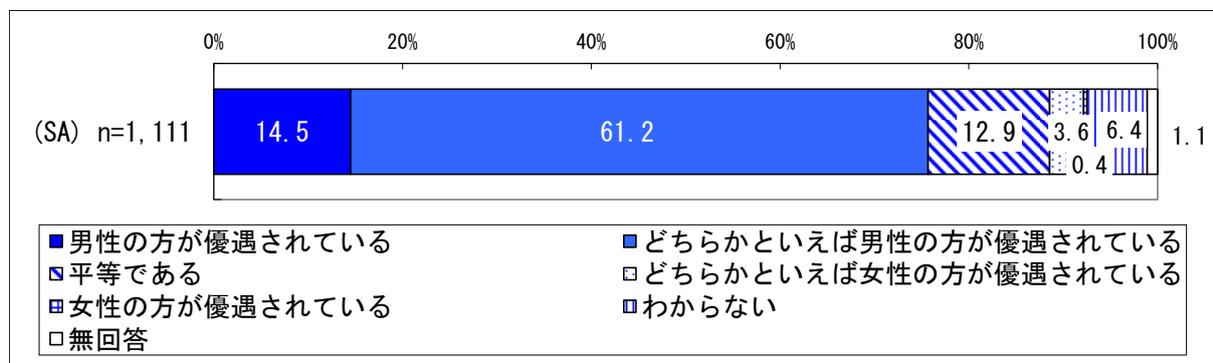


8. 法律や制度

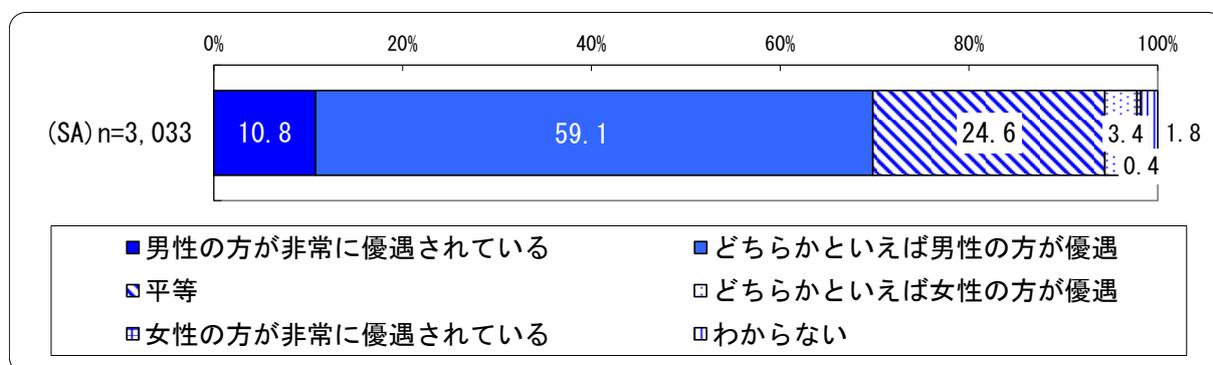


(2) 社会全体でみた男女の地位

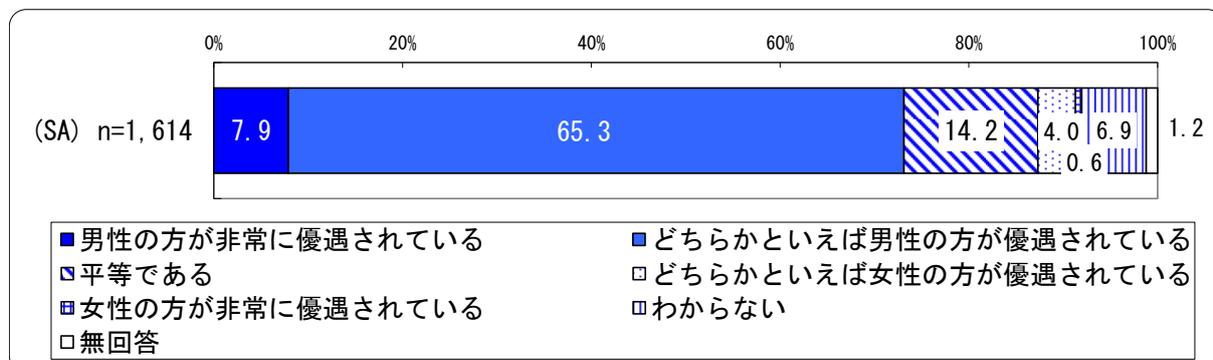
問2 社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていますか。(〇は1つ)



■平成24年全国



■平成22年茨城県



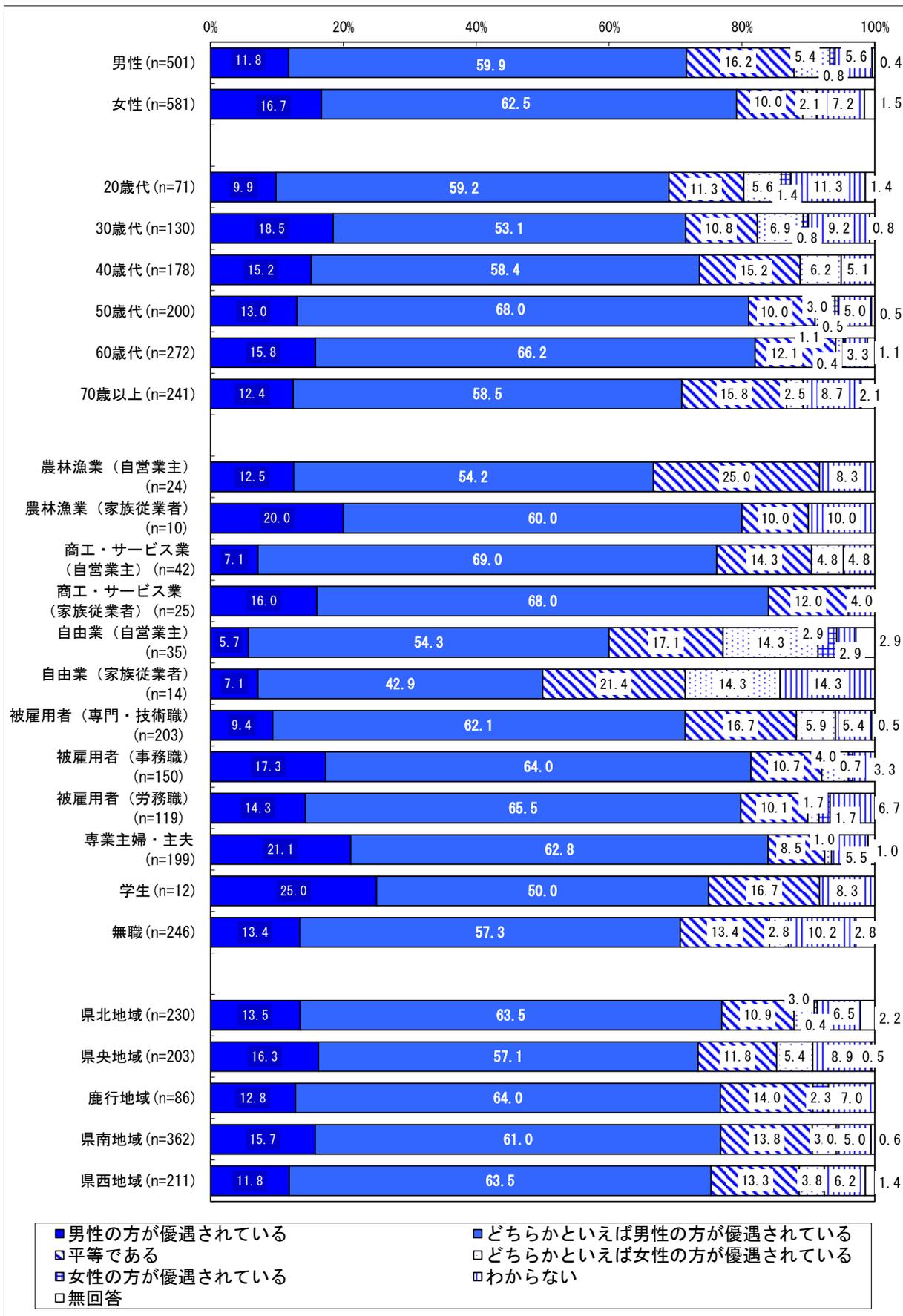
■回答者の約7割は、社会全体でみたとき、『男性の方が優遇されている』と感じている

社会全体でみた男女の地位については、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性の方が優遇されている』との回答が75.7%を占めている。「平等である」(12.9%)との回答は、前回調査の14.2%より1.3ポイント減少し、全国の24.6%よりも低くなっている。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』は男性が71.7%、女性が79.2%で7.5ポイントの差がある。

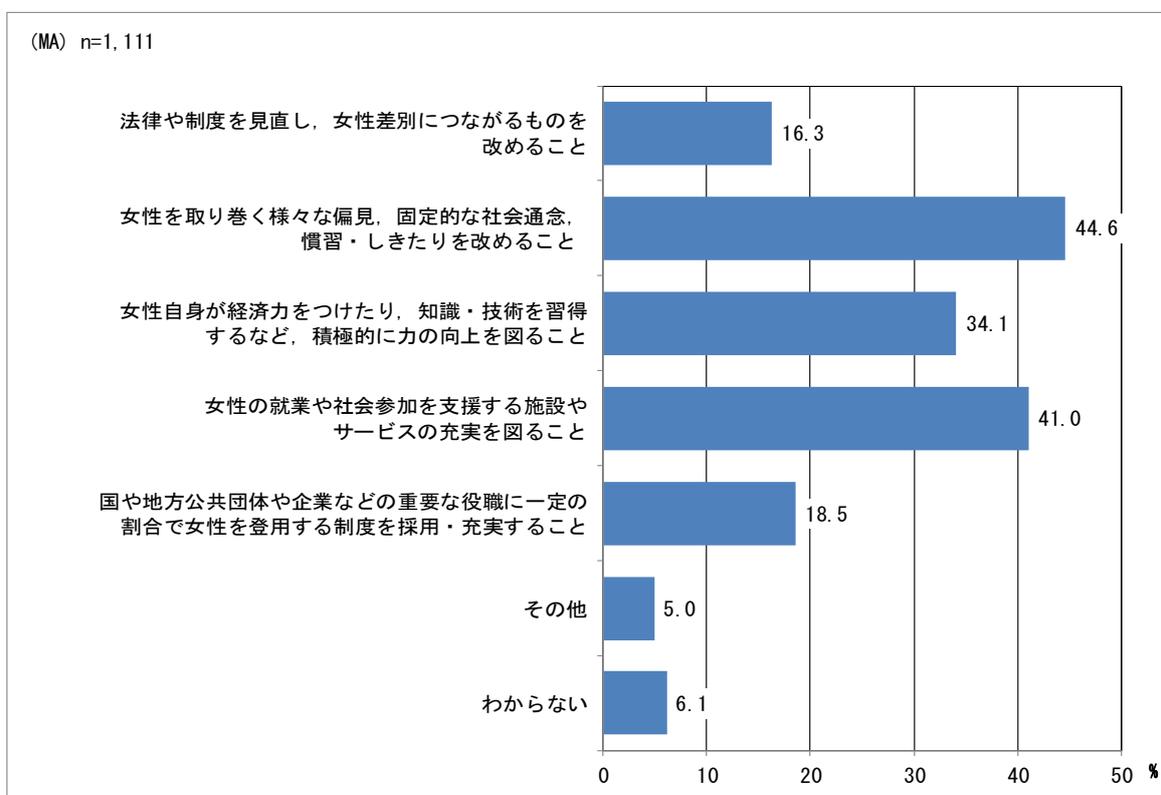
年齢別にみると、『男性の方が優遇されている』は50歳代で81.0%、60歳代で82.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

■社会全体で見た男女の地位（各属性性別）

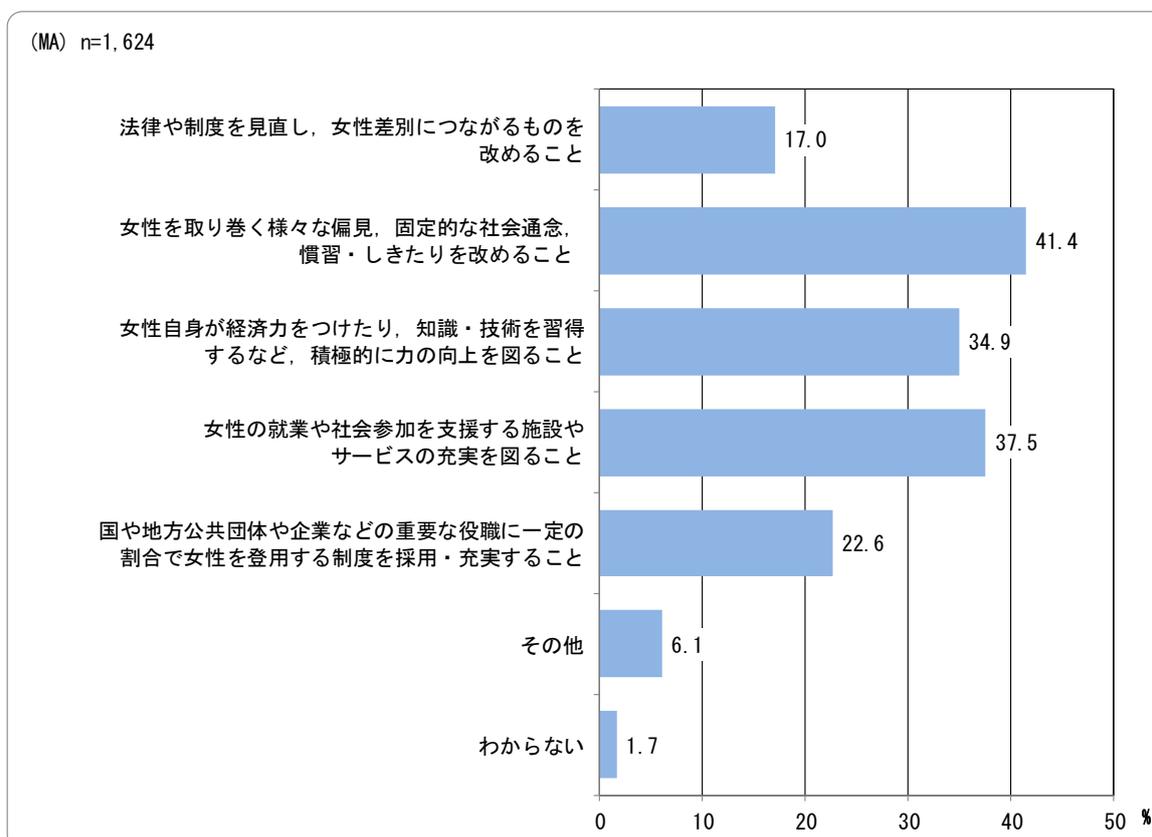


(3) 平等になるために重要なこと

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何ですか。(〇は2つまで)



■平成22年茨城県



■「女性を取り巻く様々な偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が4割を超え，最多

男女が平等となるために重要なことは，「女性を取り巻く様々な偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が44.6%と最も高く，次いで「女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が41.0%，「女性自身が経済力をつけたり，知識・技術を習得するなど，積極的に力の向上を図ること」が34.1%となっている。

性別にみると，男性では「女性を取り巻く様々な偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」(49.5%)，女性では「女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」(46.5%)がそれぞれ最も高くなっている。

年齢別にみると，「女性を取り巻く様々な偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が20歳代(49.3%)，40歳代(52.2%)，50歳代(51.0%)，60歳代(46.0%)で，「女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が30歳代(47.7%)で，「女性自身が経済力をつけたり，知識・技術を習得するなど，積極的に力の向上を図ること」が70歳以上(35.7%)で最も高くなっている。

職業別にみると，「女性を取り巻く様々な偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が自由業(家族従事者)(64.3%)で，「女性自身が経済力をつけたり，知識・技術を習得するなど，積極的に力の向上を図ること」が農林漁業(家族従事者)(60.0%)で，「女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が農林漁業(家族従事者)(50.0%)，商工・サービス業(自営業主:42.9%，家族従業者:52.0%)，自由業(家族従事者)(50.0%)で，他の職業に比べて高くなっている。

■平等になるために重要なこと(その他回答)

内容	性別	年齢
●女性に関すること		
女性自身の意識の改革とやる気	男性	40歳代ほか
仕事で役職を与えること	男性	60歳代
女性自身が負の意識を持たないこと。	男性	70歳以上
●男性に関すること		
男性の育児休暇取得など	女性	20歳代
男性にも妊娠・出産する術があればいい	女性	30歳代
男性の家庭参画意識向上	女性	40歳代
男性の意識を変える為の教育	女性	40歳代
女性をいたわり，男性の意識を変えることが大切	女性	40歳代
男性による子育ての意識を高める	女性	50歳代
●社会に関すること		
子供を預ける場所の確保	女性	40歳代
子育ての面での会社の理解	女性	50歳代ほか
子育て中や親の介護後の仕事復帰等の待遇の見直し	女性	60歳代

内容	性別	年齢
男女は良くも悪くも総合的に平等であると思う	男性	30 歳代
法律の施行→出産・子育ての際の優遇と社会復帰しやすい環境の整備（税制、補助金、保障）	男性	30 歳代
男女では体格、作りが違うので役割にあったことをする	男性	40 歳代
学校教育の場で女性の意識向上を図る	男性	60 歳代
社会側が変わるべき	女性	20 歳代
男性も定時で退社するのが普通と感じる社会にする	女性	40 歳代
子育ては男女の別ないことを徹底した認識にしていくべき	女性	40 歳代
●その他（「平等」に対する認識、現状維持		
役職に一定の割合で女性を登用すると言うことが男女平等に反している	男性	40 歳代
すでに平等である	男性	40 歳代
男女の能力差を考え互いに出来ることをするよう心がける	女性	20 歳代ほか
結婚＝男性の性になるのがあたり前、選択する場が無いという時点で平等にはなれない気がする	女性	30 歳代
平等にはならないと思う	女性	40 歳代ほか

■平等になるために重要なこと（各属性別）

		と別法 に律つ やな制 度を 改め るも の直 を改 め、 女性 こ	き固女 たり定 性を 取り な社 会を 通く 様々 な偏 見し、	こどり と、性 積知 極識 的・技 術の 向上 を図 るな	図する 女性 の就 業や サ― ビス の充 実を 支 援	女性 の登 用す る制 度を 採用 ・	国や 地方 公共 団体 や企 業な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
単位：%										
性別	男性 (n=501)	19.2	49.5	27.9	35.1	20.8	5.6	5.6	1.0	
	女性 (n=581)	13.9	40.8	39.1	46.5	16.7	4.5	6.7	1.9	
年齢別	20歳代 (n=71)	14.1	49.3	32.4	36.6	22.5	9.9	7.0		
	30歳代 (n=130)	14.6	41.5	30.8	47.7	16.2	9.2	5.4	1.5	
	40歳代 (n=178)	15.2	52.2	29.2	47.2	11.2	10.1	5.6	0.6	
	50歳代 (n=200)	18.0	51.0	33.5	49.0	14.0	3.0	3.5	1.5	
	60歳代 (n=272)	16.9	46.0	37.9	36.8	22.1	2.9	5.5	1.1	
	70歳以上 (n=241)	16.2	34.0	35.7	32.8	23.7	1.7	9.1	3.7	
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	8.3	37.5	37.5	29.2	25.0	8.3	8.3		
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)		30.0	60.0	50.0	10.0		10.0		
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	21.4	35.7	23.8	42.9	26.2	2.4	7.1	2.4	
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	16.0	36.0	48.0	52.0	20.0				
	自由業 (自営業主) (n=35)	14.3	40.0	37.1	31.4	11.4	8.6	2.9	2.9	
	自由業 (家族従業者) (n=14)	7.1	64.3	28.6	50.0	14.3	14.3			
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	12.3	54.7	35.5	45.3	15.3	4.9	4.4	1.5	
	被雇用者(事務職) (n=150)	16.7	53.3	36.0	40.0	20.0	7.3	3.3		
	被雇用者(労務職) (n=119)	15.1	42.9	31.9	49.6	14.3	6.7	5.0		
	専業主婦・主夫 (n=199)	17.1	42.2	34.2	43.2	17.6	5.5	7.5	1.5	
	学生 (n=12)	16.7	33.3	50.0	16.7	33.3	16.7	8.3		
	無職 (n=246)	19.9	38.6	30.1	35.0	22.4	1.2	9.8	3.7	
地域別	県北地域 (n=230)	15.7	43.0	37.4	40.0	18.7	3.0	6.5	3.0	
	県央地域 (n=203)	15.3	45.8	31.0	36.5	20.2	8.4	8.4	2.0	
	鹿行地域 (n=86)	11.6	32.6	39.5	43.0	22.1	7.0	5.8	1.2	
	県南地域 (n=362)	18.0	48.1	35.4	43.1	14.4	5.8	4.7	0.8	
	県西地域 (n=211)	17.1	46.0	28.0	42.2	22.3	1.9	6.2	1.4	